

## 区議会の各会派、議員の皆様へのお願い

私たちは、下北沢で商業を営む者たちの有志「54号線の見直しを求める下北沢商業者協議会」です。私たちは別紙「要望書」について、下北沢で商業活動をしている店舗や事業所420店（1月14日現在）を取りまとめたことから、熊本区長に直接面談し、要望書をお渡ししたいということを再三申し入れてきました。しかし残念ながら、区長室はこの要望を引き継いでくださりませんでした。下北沢の商業者420店という数字は、軽んぜられていいような数字ではありません。そのことは区長や区の当局者が一番良く理解される数字であろうかと思えます。

下北沢は小田急線の連続立体交差事業の一環として再開発が予定されていますが、この街の将来は私たち自身の将来でもありますし、お客様にも多大な影響を与えます。街の個性は一朝一夕で作られるものではなく、商売を営む者ひとりひとりの工夫の積み重ねにより、長年のうちに少しずつ作り上げられるものです。私たちが苦心して作り上げ守ってきた街を、私たちが意見を述べる機会が与えられないままに、いとも簡単に破壊してしまうことを見過ごすことはできません。

区長室は窓口として北沢総合支所の街づくり課を指定していますが、この街の将来は、世田谷の都市政策全体として考えられなければならないはずです。環境行政はもちろんのこと、商業政策のあり方、観光政策のあり方も含めての総合的な観点が必要です。さらにこの計画は、国の補助金を大幅に見込む国家的プロジェクトであり、補助54号線の整備の是非や、小田急線跡地の利用など、高度な政治判断が必要になってきます。そういった意味で、今回の要望については、北沢の総合支所街づくり課ではなく、区政の総指揮官である区長に受け止めていただく必要があるのです。

私たちは、区長が公約どおり区民の目線に立って、聞く耳を持つ区長であって欲しいと願うものです。

以上の理由から、私たちは、1月18日に、記者会見を開き、区の間への対応を内外に知らしめるとともに、区長に対しあくまで面会を求めて区長室に要望書を届けることとしました。つきましては、区民の代表である皆様に、ご支援いただきたく、お願いする次第です。当日の日程は別紙のとおりです。

次のことをしていただければ幸いです。

### 【記】

- 1．集会と記者会見を行ないますので、激励に駆けつけてください。
- 2．パレードを行ないますので、ご参加ください。
- 3．区長室に申し入れる際には、区長との面会がかなうようお口添えください。

以上、お願い申し上げます。

「54号線の見直しを求める下北沢商業者協議会」  
代表 大木 雄高 (Lady Jane)

### 【連絡先】

〒155-0032 世田谷区代沢 2-25-11-105(ビッグトリイ分室)

E-mail: [bigtory@mba.ocn.ne.jp](mailto:bigtory@mba.ocn.ne.jp)

Fax: 03-3419-6848

Tel: 080-5426-8904 (事務係・久山)